

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あおぞらテラス			
○保護者評価実施期間	2025年12月22日		～	2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27家庭	(回答者数)	22家庭
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		～	2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月違うプログラムを組み、子どもたちが飽きることのないよう、また週1日の利用でも4週通所することで総合的に様々な支援アプローチができるように計画している。	子どもたちの集中力やその日の様子を考慮して集団での時間は間延びしないように工夫した内容展開を心がけている。	活動プログラムにおいては目的、課題を明確にし、アセスメント、評価の充実を図り、引き続き集団と個の自由時間のバランスを大切に過ごせるように整えている。
2	祝日や長期休暇期間などには外出や室内での大きなイベントを計画し長時間利用でも一日楽しめるように取り入れている。	季節感や年齢層に合わせて内容を検討し、「言語・コミュニケーション」や「人間関係・社会性」を意識して目的設定を行っている。	利用児童の興味関心やご家庭のニーズを考慮して活動内容をアップデートしていく。
3	児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行が安心かつスムーズにすすめられるよう、必要に応じては園との連携を図りながら就学へのサポートを行っている。	就学に向けたサポートでは家庭との連携を密に行い、セルフプランの家庭に対しては受給者証や上限額管理などの事務的な移行も丁寧な説明を行っている。	児童発達支援の役割を地域的にも周知させていく。そのためには近隣の幼、保、こども園との連携を図り、こどもの現場での課題点を見出していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設周辺の福祉サービスや子育て支援サービス、地域や自治会などとのつながりが少ない。	きっかけや外に向けての事業所アピールなどを積極的には行ってこなかった。	地域の協議会に参加するなど外部とのつながりを広め、顔を合わせる機会を増やしていく。
2	今までは家庭や家族参観の機会が少なく、事業所内での様子を十分に伝えることができていなかったと思われる。	平日のみの開所で、就労されている保護者の方が多い中、日時の設定が難しく実行に移せていなかった。	以前実施した保護者の茶話会を計画していく。また講師などを招いての親子イベントなども検討していく。
3	職員の研修(社内外の研修)を計画的かつ積極的に実施して法令も含めたアップデートをしていく必要があると思われる。	情報収集はでき始めているが周知までに留まり、現場に落とし込むまでのプロセスが十分ではなかった。	スキルアップの外部研修も視野に入れながら、法令や市内の研修情報を集め職員の質の向上に努める。